

令和3年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	13	氏名	佐野 孜 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	市内北部地域の自然環境保全対策、朝霧地区の畜産業及び北部地域の農林水産業を軸にした産業の発展について			<p>富士山西麓の自然環境保全を軸に、産業都市委員会では「ふじのみやの一次産業イノベーションについて」を政策課題として設定した。自然環境を守りながら、ふじのみやの一次産業を発展させ、農林水産業に従事したい願望を持つ若者を増やし、富士山の麓で自然や野生動物と共生できる、魅力溢れるゼロカーボンシティを目指す過程について伺う。</p> <p>(1) 畜産業の振興策について。</p> <p>① 発展を支援する方向性について。</p> <p>ア 家畜、草原、防風林及び富士山等の風景に溶け込んだ観光牧場を作り出す経営支援策は考えられるか。</p> <p>イ 生き物と触れ合い、命の大切さを学ぶ体験牧場のための支援策は考えられないか。</p> <p>ウ 牛乳生産量と上質な肉の生産を挙げる牧場経営のための支援策は考えられないか。</p> <p>エ 6次産業と福祉事業を組み合わせた共同経営方式を取り入れることはできないか。</p> <p>② 後継者を育成する教育施設をどのように整備していくのか。</p> <p>③ 家畜ふん尿の処理対策について。</p> <p>ア 牧場経営者の独自の方法による堆肥化とその活用の推進策はあるか。</p> <p>イ 共同経営で堆肥化を推進させる方策はないのか。</p> <p>ウ 個人の企業経営で堆肥化を推進させる方策はないのか。</p> <p>エ 木質バイオマス発電や家畜ふん尿バイオマス発電の施設との併用による堆肥化を推進させる方策は考えているのか。</p> <p>オ 林業と連携して、スギやヒノキの家畜舎敷き材(おが粉)を牧場に提供することについてどう考えるか。</p> <p>(2) 家畜堆肥の使用による野菜特産物の開発と生産を推進すべきと考えるがどうか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長